

事務事業チェックシート

事務事業No 674 事業名 子ども会育成事業

[事業基本情報]

分野別目標	2	個人を尊重し、人々がともに助け合う優しいまち
政策	5	人権尊重社会の実現
施策	1	人権が尊重される社会づくり
基本方針	2	人権教育・啓発の充実

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計		一般会計	
	款		教育費	
	項		社会教育費	
	目		人権教育費	
	大事業		人権教育事業	
事項		子ども会育成事業		

事業種別	継続	主な事務事業	
事業期間	S 4 2年 ~		
事業実施の根拠法令			
関連個別計画			
担当課・担当課長 (Tel)	青少年課	小井 淳司(435-1235)	
関連課	子育て支援課		

「3つの約束・44の約束」との関連性

3つの約束	産業を元気に	まちを元気に	人を元気に	非該当
			○	
44の約束				○

1 事業概要及び実施内容

事業概要	事業目的（「誰・何」をどういう状態にする」ための事業か）	事業内容				
	他人を思いやる心や人権を大切にすることを育み、目標に向かって主体的に行動していく力、いわゆる「生きる力」の育成を図るため実施されている子ども会活動を支援し、青少年の健全育成を図ることを目的とした事業。	原則として1小学校区内に居住する20人以上の児童・生徒を会員として組織され、年間50日以上次の活動を行い、交付金を各地域子ども会に交付する。 ○創作活動・スポーツレクリエーション活動・人権活動・情報活動など自主性及び創造性を育む学習活動。 ○野外・ボランティア・職場体験学の活動。 ○地域住民や子ども相互の交流活動。 ○リーダー養成のための活動。				
実施内容		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
		学習活動、体験活動、交流活動、指導者養成活動	学習活動、体験活動、交流活動、指導者養成活動	学習活動、体験活動、交流活動、指導者養成活動	学習活動、体験活動、交流活動、指導者養成活動	学習活動、体験活動、交流活動、指導者養成活動

2 事業コスト

事業費等 千円		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		
		当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算	計画	決算	
	事業費	39,566	37,042	38,878	37,157	38,668		38,668		38,668		
	伸び率 (%)	-	-	-1.7%		-0.5%		0.0%		0.0%		
	人件費	常勤職員	94,561	114,558	94,561	141,990	141,990		141,990		141,990	
		非常勤職員	15,547	18,867	18,867	16,054	16,054		16,054		16,054	
		小計	110,108	133,425	110,108	158,044	158,044		158,044		158,044	
	国庫支出金											
	県支出金	18,051	16,941	17,551	16,893	17,551		17,551		17,551		
	市債											
	その他											
	一般財源(税等)	21,515	20,101	21,327	20,264	21,117		21,117		21,117		
	所要人数	常勤職員	12.75	15.32	12.75	18.69	18.69		18.67		18.67	
非常勤職員		7.61	9.51	7.61	7.62	7.62		7.62		7.62		
主な予算内訳	地域子ども会活動支援交付金35,000千円等											

3 目標及び実績

活動指標	指標名及び達成状況				平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	交付金交付団体数				年度目標値	13	13	13	13
					実績値	13	13		
	単位	全体目標値	全体目標達成度	年度別達成度	100.0%	100.0%			
					年度目標値				
					実績値				
単位	全体目標値	全体目標達成度	年度別達成度						
成果指標	子ども会が開催する行事回数				年度目標値	13	13	13	13
					実績値	13	13		
	単位	人	全体目標値	全体目標達成度	100.0%	100.0%	100.0%		
					年度目標値				
					実績値				
	単位	回	全体目標値	全体目標達成度	100.0%	100.0%	100.0%		
				年度別達成度					

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している(90%以上)		おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか		できない	○	制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持		○		
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	子ども会は、地域の子どもの学力や進路の問題など、教育的課題に取り組むとともに、他人を思いやる心や人権を大切にする心を育み、目標に向かって主体的に行動していく力を育むことを目的として、地域が一体となって子どもたちの健全育成に取り組む有意義な活動であると考えており、事業内容を十分精査しながら支援を継続していきたい。
「見直し」 「改善」案	